

(様式1)

令和5年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立寺島中学校
校長名	田中 茂和

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・受検教科平均で見ると、全学年が全国値とほぼ同程度で、おおむね良好な状況である。特に1・3学年に日ごろの指導の成果が表れている。・1学年については、標準スコアによるカテゴリ一問の比較で見ると、英語、数学、国語において全国値を上回った。特に国語では、4ポイント上回った。	<ul style="list-style-type: none">・社会については、最大2ポイント程度、全学年において全国平均を下回った。・1学年、3学年は全国値と同程度であるが、2学年は、全国値を全教科で下回っている。・経年変化を見ると、昨年度に比べて全教科において標準スコアに若干の下降傾向が見られる。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・質問「あなたは、授業や日常生活の中で、不思議だな、どうしてだろう、と思ったことを調べていますか。」の肯定率が、1学年は全国を14ポイント以上、上回った。・質問「テストで間違えた問題はあとでやり直していますか。」の肯定率が、1学年と2学年は全国値を上回った。	<ul style="list-style-type: none">・質問「学校の授業の予習や復習をしていますか。」を学年ごとの肯定率で見ると、1年(50.0%)に比べて、2年(48.5%)、3年(48.1%)の値が低い。・質問「学校の授業以外で、週に何日くらい勉強していますか。」について、ほぼ毎日がどの学年も全国値を下回った。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・朝学習への取り組み状況がよく、朝学習コンテストを目標に努力する生徒が多い。また、小テストに対しても努力する生徒が多い。・英語検定、漢字検定、数学検定の受検希望者が多い。	<ul style="list-style-type: none">・問題集など、課題の提出に対して積極性を欠く生徒が固定化している。・家庭学習への取り組みについて、意欲に差が見られる。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 授業規律5箇条の徹底

- ・全校体制で継続した取り組みとして定着している。
- ・時間を守り、身なりを整えることで生徒-教師相互で学習に向かう姿勢をつくる。
- ・定期的に点検期間を設け、数値化してフィードバックしている。

(2) 学習習慣の確立を目指した家庭学習の取り組み

- ・教科担当と学年担当が連携し、管理運営を行う。
- ・家庭と連携し、学習習慣の定着を促す。
- ・時期、授業進度等を考慮し、教科、課題量、難度に変化をもたせる。
- ・朝学習・家庭学習コンテストを行い、学習の成果を実感させる。
- ・授業や定期考査にミライシードや振り返りシートからの発展問題を取り入れ、家庭学習の効果を実感させる。

(3) 定期考査に向けた全校での取り組み

① 学習計画表の作成と振り返り

- ・3週間前に考査範囲表を配付し、心構えをさせる。
- ・学習計画表を活用し、視覚的に学習状況を確認させる。
- ・1週間ごとに振り返りを行い、直近の進捗状況を確認させる。

② 放課後一斉学習会

- ・定期考査に向けた意識付けや、学習における疑問の解消を目的とする。
- ・主体的な学習態度を身につけるため、質問がある生徒が参加する形式とする。特に1年生は定期考査への不安解消として役立てている。

3 「令和6年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・各教科のD・E層の割合を、5%減少させる。
- ・全学年・全教科において、全国平均を上回る。
- ・全学年・全教科において、観点別正答率の評価が目標値に対して「上回っている」または「同程度」になる。